

# 山田みやこの活動報告

平成30年11月25日(日)

## 下野市国分寺公民館にて下野つばさの会 公開講演会に参加

講師 前川喜平氏

(現代教育行政研究会代表・元文部科学省事務次官)

演題 「個人の尊厳に根差した教育」

憲法は個人の尊厳を守るためのもの。戦前は国家を中心とした考えだった。未来は個人が一番先に来る。そして市民、さらに国家という順番  
今、権力者による行政の私物化がされている。  
文科省時代、義務教育国庫負担金を国の負担をなくし、地方負担という議論があったが、義務教育という視点から平等に教育を受ける権利のため地方移管は阻止した。学校教育では憲法に基づく道德教育というが、いま進められている道德教育には危機感を覚える。

日本国憲法が大切にしている点は国民主権・基本的人権・平和主義。これを公教育の中で実践している。個人の尊厳は一人ひとりのアイデンティティ・マイノリティも大切に多様性を認めること。  
発達障害・不登校・LGBT等、何らかのマイノリティを持っているが、これは個人の尊厳として認めていく。

多民族、多文化共生社会を目指して相互理解を深め  
あるがままに生きられるために。

教育に長年携わってきた前川氏。個人に尊厳を認めるための教育がいかに必要であるかを力説された。

下野つばさの会公開講演会

平成30年11月25日(日)  
於 下野市国分寺公民館

**演題**  
**個人の尊厳にねざした教育**  
～すべての子どもたちの未来のために～  
**講師 前川喜平さん**

《 次 第 》

開 会	13:30～
代表挨拶	
講師紹介	
講 演	13:40～15:20
閉 会	15:30

